

愛知県歯科医学大会

笑顔の溢れる健康長寿を目指して

～ 未来を担うデジタルデンティストリー～



期日／令和7年2月15日(土)・16日(日)

場所／名古屋市中小企業振興会館(吹上ホール) 併設／第48回中部日本デンタルショー



ご 挨拶



(一社)愛知県歯科医師会
会 長 内 堀 典 保

令和6年度愛知県歯科医学大会開催にあたり一言ご挨拶申し上げます。

昨夏にはパリオリンピック・パラリンピックが開催され、日本選手団はオリンピックで合計45個、パラリンピックで合計41個のメダルを獲得し大きな成果を挙げました。(一社)愛知県歯科医師会でも、マウスガードをはじめとするスポーツ歯科分野にも積極的に取り組んでおり、プロ野球中日ドラゴンズ、プロバスケットボール名古屋ダイヤモンドドルフィンズ、シーホース三河など愛知県下のプロスポーツチームへの検診、マウスガード作製を通じて地域スポーツへ貢献しています。また、スポーツを通して健康で長生きするための運動習慣と口腔の関係の重要性を説き、歯科の価値を高めていきたいと考えています。

さて、愛知県歯科医学大会は、歯科界では中部地区最大のイベントであります。今年度は「笑顔の溢れる健康長寿を目指して ～未来を担うデジタルデンティストリー～」をテーマに、例年通り名古屋市中小企業振興会館（吹上ホール）にて土日2日間の開催となります。また、こちらも例年通りですが、第48回中部日本デンタルショーも併設されます。

日曜日には歯科医師会講演1としまして東京医科歯科大学（現 東京科学大学）名誉教授 鈴木哲也先生に「デジタルデンチャーを始める前に、一般臨床歯科医が知っておきたいこと」と題しまして、講演していただきます。光学印象が令和6年の診療報酬改定より保険収載されましたが、今後より一層デジタル技術を活用した歯科診療が普及していくことが予想されます。中でもデジタル技術を応用した義歯製作の実際を知見や技術など義歯作りのノウハウをお持ちの鈴木先生にお話いただければと思います。

また歯科医師会講演2としまして朝日大学歯学部 口腔構造機能発育学講座 小児歯科学分野 教授の齊藤一誠先生に「小児の口腔機能の健全な発達と発育不全への対応」と題しまして、講演していただきます。昨今、小児の口腔機能に関して日常臨床でも重要になっており、特に発達不全の認められる場合には適切な、評価、検査、対応が必要になります。齊藤先生には以前この歯科医学大会で口腔機能管理加算が保険収載された際にお話いただきましたが、今回最新の知見を踏まえ皆様のさらなる理解を深めていただける講演になると考えています。

他にも（一社）愛知県歯科技工士会ならびに（公社）愛知県歯科衛生士会の講演をはじめ、企業企画講演、各団体のワークショップ、デンタルファミリー余技総合展等、充実した内容となっております。

最後になりましたが、本大会の企画、準備、運営等にご尽力賜りました関係各位に心より御礼申し上げますとともに、今後ともさらなる発展のため御協力を賜りますようお願い申し上げます。

ご 挨拶



(一社)愛知県歯科技工士会
会 長 鈴 木 正 隆

令和6年度愛知県歯科医学大会の開催にあたり、(一社)愛知県歯科技工士会を代表してご挨拶させていただきます。

令和6年1月に能登半島を襲った大きな震災があり、愛知県歯科技工士会へもJDAT要請の準備を整えました。愛知県歯科技工士会自体には能登に出向く機会はありませんでしたが、近隣の技工士会は義歯の清掃や修理の作業をされたとお聞きしました。被災状況では技工士会会員として家屋や仕事場の損壊が数名いらっしやっただとお聞きしましたが、幸い死亡事例はありませんでした。災害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、南海トラフ震源域での地震もあり、初めての東南海トラフ地震警戒情報が発令され、多くの皆さんが改めて地震に対する認識が芽生えたのかも知れません。

歯科技工士名簿登録者は約14万人で、うち実質就業労働者は3,4万人と歯科技工労働者はまだまだ不足です。(一社)愛知県歯科技工士会では、厚生労働省委託「歯科技工士の人材確保対策事業」を受け、9月22日に「ワークステーション“D”」として歯科医師会・歯科技工士会・愛知県下歯科技工士専門学校・東海用品商組合と一緒に県民・市民に対して人材確保の観念からイベントを開催しました。ご協力頂いた関係団体の皆様に心より感謝申し上げます。

今回のテーマ「笑顔の溢れる健康長寿を目指して～未来を担うデジタルデンティストリー～」まさに、近い未来には歯科技工士の存在は見えなくなります。日本の人口減少と共に歯科技工士の労働人口も減り、最新技術が歯科技工労働力に成り代わるのか、聊か不安もありますが、期待もあります。そんな未来を担って頂く歯科技工士が少しでも増え、日常の歯科治療が滞りなく患者様の安心・安全を約束できる環境整備も進めなくてはなりません。

(一社)愛知県歯科技工士会講演は「歯科技工士にできること～医科診療科との連携～」として愛知医科大学病院形成外科体表面補綴研究室製作担当者歯科技工士の森下裕司先生・佐伯和紀先生にご講演をお願いし、医科診療科の古川洋志教授をお迎えし製作した各種の装具を供覧し、連携を報告して頂きます。

歯科技工士の仕事の可能性を知って頂ける有意義なご講演になりますので、多くの皆様にご来場をお待ちしています。歯科技工士会ブースでの歯型彫刻も開催いたしますので技工士の技術をご覧ください。

最後になりましたが、本年の歯科医学大会を企画・準備・運営等ご尽力頂いた皆様に心より感謝申し上げます、今後も益々のご発展とご多幸を申し上げます。

ご 挨拶



(公社)愛知県歯科衛生士会
会 長 金 森 いづみ

令和6年度愛知県歯科医学大会が開催されるにあたり、共催団体としてご挨拶申し上げます。

2024年は元日に発生した能登半島地震、そして8月には日向灘を震源とする地震の後「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が初めて発表され、日本が地震大国であることを改めて思い知らされました。また、9月に発生した能登半島豪雨をはじめとする大雨による川の氾濫やがけ崩れなども頻発していることから、飲料水や食料品など災害時の備えの重要性が再認識されています。先の能登半島地震の折にも、誤嚥性肺炎のリスク管理に対する意識の高まりもあり、備蓄品や支援物資の中に様々な口腔ケアグッズが届いていました。ところが、特に高齢者が多い地域ではその使用方法がわからず、せっかく届いても使えずに残ってしまったものも多かったと聞いています。「備えあれば憂いなし」と言われますが、「備えて使えれば憂いなし」平時から災害時を想定した支援の必要性を痛感しました。

今年度愛知県は、2024年度～2035年度までの健康増進に係る取り組みの方向性と目標を示した「第3期健康日本 21 あいち計画」を策定しました。基本的な目標は「健康寿命の延伸と健康格差の縮小」とされていますが、新たな目標として「胎児期から高齢期に至るまでの人の生涯を経時的に捉えた健康づくり（ライフコースアプローチ）の推進」が加わりました。歯科口腔保健における歯科疾患の予防、口腔機能の健全な育成と維持・向上の取り組みにもライフコースアプローチの考え方を取り入れる必要があります。歯科口腔保健の担い手である歯科衛生士の役割はますます重要になるとともに新たな学びも必要となります。

今年度の愛知県歯科衛生士会講演は、講師に東京医科歯科大学（現 東京科学大学）大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野教授 戸原 玄先生をお招きし、「これからの摂食嚥下リハビリテーション～診療所勤務の歯科衛生士に期待すること～」をテーマにご講演いただきます。戸原先生は、わが国の摂食嚥下リハビリテーション分野における研究および実践の発展を支える最も重要な先生のお一人です。今回、歯科衛生士に知ってもらいたい、摂食嚥下に関する最新の知見についてお話させていただきます。多くの方のご参加をお待ちしております。

愛知県歯科衛生士会は様々な職場で活躍する歯科衛生士を支援するため“歯科衛生士が働きやすい職場環境”をめざして引き続き取り組みを進めています。また、南海トラフ地震など災害時の支援、受援体制の構築にも力を入れてまいります。

最後になりましたが、本大会の企画、準備、運営等にご尽力賜りました関係各位の皆さま方に深く感謝申し上げますとともに、益々のご発展とご多幸をお祈り申し上げます。

ご 挨拶



東海歯科用品商協同組合理事長
中部日本デンタルショー実行委員長

岡 崎 宏 紀

第48回中部日本デンタルショーの開催にあたり、ご挨拶申し上げます。

まずは、日頃より、私ども東海歯科用品商協同組合理事長としての格別のお取引・お付き合いを賜り厚く御礼申し上げます。また、長きに亘り、開催続けることができるのも、歯科業界の皆さまの多大なるご理解ご協力を賜りましたお陰と深く感謝申し上げます。

昨年開催した第47回中部日本デンタルショーでは日本中の歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士の皆様にもご覧いただけるWEBデンタルショーも開催し、また吹上ホール会場にも大勢の参加者もお越しいただき、大盛況で終える事ができ大変ありがたく、喜ばしい気持ちでご報告させていただきます。

第48回中部日本デンタルショーは、2025年2月15日・16日に亘り、愛知県歯科医学大会と併設で、名古屋市中企業振興会館（吹上ホール）にて開催させていただきます。学術大会のテーマは「笑顔の溢れる健康長寿を目指して～未来を担うデジタルデンティストリー～」として、時流に即した講演・企画講演をはじめ、テーマに沿った最新器具・機材の展示なども多数させていただきます。

日本経済は人材不足で2025年には15～64歳の労働人口が総人口の5割台となり、全ての業界でスタッフが不足する可能性があると言われています。働き方改革も急速に進んでおり、歯科業界を取り巻く状況は厳しくなります。

微力ではありますが私たち材料商もデンタルファミリーで手を携え、皆様の歯科医療の一端を担って参りたいと思います

また、今デンタルショーでも昨年に引き続きWEBデンタルショーを開催致します。さらに、会場内では来場者の皆様が各企業ブースを快適にご覧いただけるよう工夫をして参ります。外周通路を作り混雑緩和、また各企業ブースと連携しSNS等を利用し会場内の熱気をライブでお伝え出来るよう等々考えています。

末筆になりましたが、当組合並びに中部日本デンタルショーに多大なるご支援、ご協力を賜りました（一社）愛知県歯科医師会、（一社）愛知県歯科技工士会、（公社）愛知県歯科衛生士会、ならびに出展企業及びすべての関係各位に厚く御礼申し上げますとともに、各位の益々のご発展とご多幸をお祈り申し上げます。

多数の皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

愛知県歯科医学大会

愛知県歯科医学大会

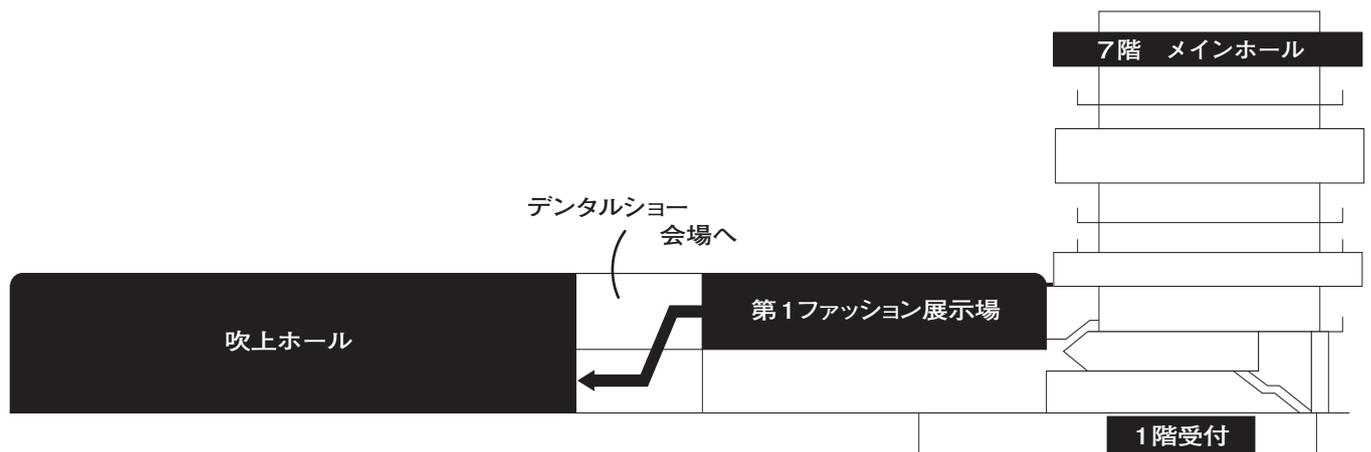
笑顔の溢れる健康長寿を目指して
～ 未来を担うデジタルデンティストリー～

主催 (一社) 愛知県歯科医師会
共催 (一社) 愛知県歯科技工士会
(公社) 愛知県歯科衛生士会
東海歯科用品商協同組合

2月15日 (土)

1階	12:00 18:30	受付・登録
1階 受付前	11:30 11:50	愛知県歯科医学大会 第48回中部日本デンタルショー テープカット
2階 第1ファッション展示場	12:00 19:00	ワークショップ (一社) 愛知県歯科医師会 「愛知県歯科医師会による肝疾患啓発」コーナー 「閉塞性睡眠時無呼吸」コーナー 「りっぷるくん、りっぷるとれーなー」コーナー 「イルミスキャンII」コーナー 歯科医院専売洗口液【モンダミンハビットプロ】コーナー 口腔機能低下症検査機器体験コーナー (一社) 愛知県歯科技工士会 ・ADTAトレーニングセンター第10期技工作品展示 ・技工製作物展示 (公社) 愛知県歯科衛生士会 学術大会「第19回 会員ポスター展示」
		第48回中部日本デンタルショー
		第48回中部日本デンタルショー「歯科に関する本なんでもコーナー」
		東海歯科用品商協同組合企画講演 15:00～15:45 ①サンシステム株式会社 ゼロからわかる！医療DXの現状と展望 15:45～16:30 ②株式会社プリファードロボティクス (内外歯材株式会社) ロボット協働の新たな可能性：スタッフの負担軽減と患者サービス向上
		15:00 16:30
12:00 19:00	第48回中部日本デンタルショー	
1階 ホール上	12:00 19:00	第48回中部日本デンタルショー

- [注] 1. 受付は1階にて行いますので、必ず登録のうえ入館証をおつけ下さい。
2. 駐車場 (有料) は有りますが、台数に限りがございますので、公共交通機関のご利用をお願いします。



2月16日（日）

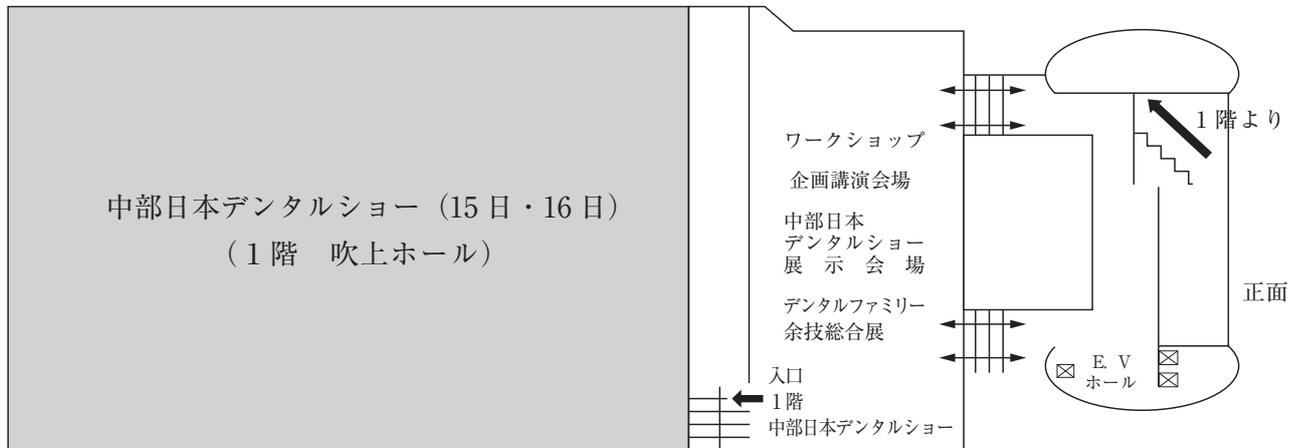
1階	9:00 16:00	受付・登録	
7階	メインホール	9:10 9:40	愛知県歯科医学大会講演会開会式
		9:50 11:10	(一社) 愛知県歯科医師会講演 1 演題 「デジタルデンチャーを始める前に、一般臨床歯科医が知っておきたいこと」 講師 東京医科歯科大学（現 東京科学大学）名誉教授 鈴木哲也先生
		11:20 12:40	(一社) 愛知県歯科医師会講演 2 演題 「小児の口腔機能の健全な発達と発達不全への対応」 講師 朝日大学歯学部 口腔構造機能発育学講座 小児歯科学分野 教授 齊藤一誠先生
		12:50 14:10	(一社) 愛知県歯科技工士会講演 演題 「歯科技工士にできること ～医科診療科との連携～」 講師 愛知医科大学病院 形成外科体表面補綴研究室 森下裕司先生 愛知医科大学病院 形成外科体表面補綴研究室 佐伯和紀先生 愛知医科大学 形成外科学講座 教授 古川洋志先生
		14:20 15:40	(公社) 愛知県歯科衛生士会講演 演題 「これからの摂食嚥下リハビリテーション～診療所勤務の歯科衛生士に期待すること～」 講師 東京医科歯科大学（現 東京科学大学）大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野 教授 戸原玄先生
2階	第1ファッション展示場	9:00 16:30	ワークショップ (一社) 愛知県歯科医師会 「愛知県歯科医師会による肝疾患啓発」コーナー 「閉塞性睡眠時無呼吸」コーナー 「りっぷるくん、りっぷるとれーなー」コーナー 「イルミスキャンII」コーナー 歯科医院専売洗口液【モンダミンハビットプロ】コーナー 口腔機能低下症検査機器体験コーナー (一社) 愛知県歯科技工士会 ・ADTAトレーニングセンター第10期技工作品展示 ・技工製作物展示 ・カービングコンテスト&デジタルカービングコンテスト (公社) 愛知県歯科衛生士会 学術大会「第19回 会員ポスター発表」「出張 なんでも相談」
		9:00 16:30	第48回中部日本デンタルショー
		9:00 16:30	第48回中部日本デンタルショー「歯科に関する本なんでもコーナー」
		10:00 13:45	東海歯科用品商協同組合企画講演 10:00～10:45 ① ライオン歯科材株式会社 歯周治療とプラークコントロール ～患者さんを行動変容に促すコツ！～ 10:45～11:30 ② 株式会社ジーシー スピードホワイトニング？ それとも マイルドホワイトニング？ ～患者のニーズに応える医療ホワイトニングの新提案～ 11:30～12:15 ③ クルツァー・ジャパン株式会社 "簡単で高接着"-ZENユニバーサルシステムの概要について 12:15～13:00 ④ 株式会社コムネット 診療報酬改定を活かし切る歯科医院経営のこれから 13:00～13:45 ⑤ ソルベンタム合同会社 保険診療でも妥協しないコンポジットレジン 解剖学的回復と色調適合性
9:00 16:30	第37回デンタルファミリー余技総合展（茶席11:00～15:00）		
1階	ホール上	9:00 16:30	第48回中部日本デンタルショー

愛知県歯科医学大会は日歯生涯研修事業です。
特別研修10単位および7階メインホール講演で研修単位を取得できます。
日歯生涯研修ICカードを必ずご持参ください。

※愛知県歯科技工士会生涯研修（自由課程）1単位となります。[開催コード100-82301]

会場平面図

2階 第1ファッション展示場



15・16日

東海歯科用品商協同組合企画講演

ワークショップ

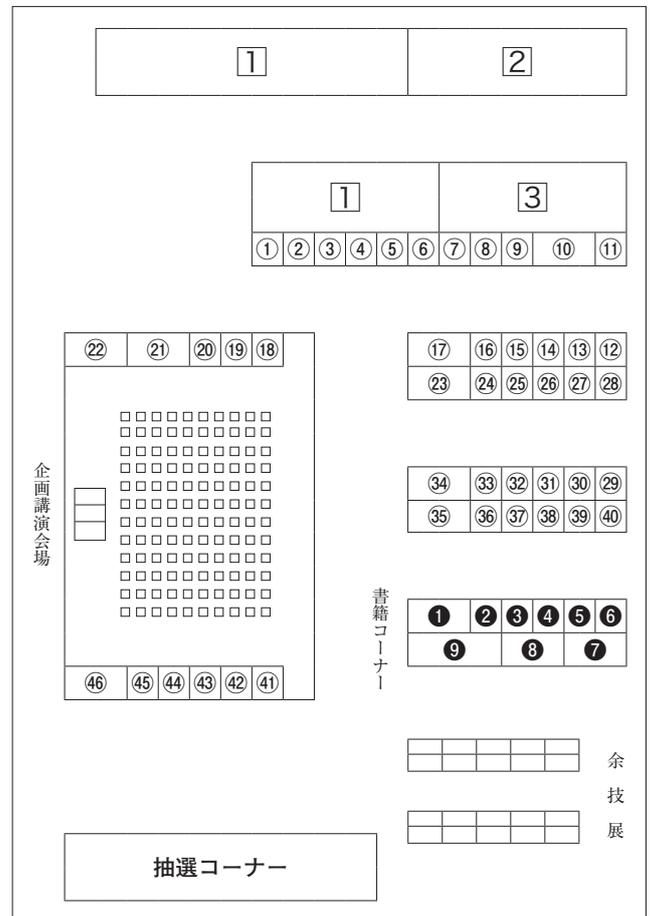
(一社) 愛知県歯科医師会

(一社) 愛知県歯科技工士会

(公社) 愛知県歯科衛生士会

デンタルファミリー余技総合展

2階 第1ファッション展示場



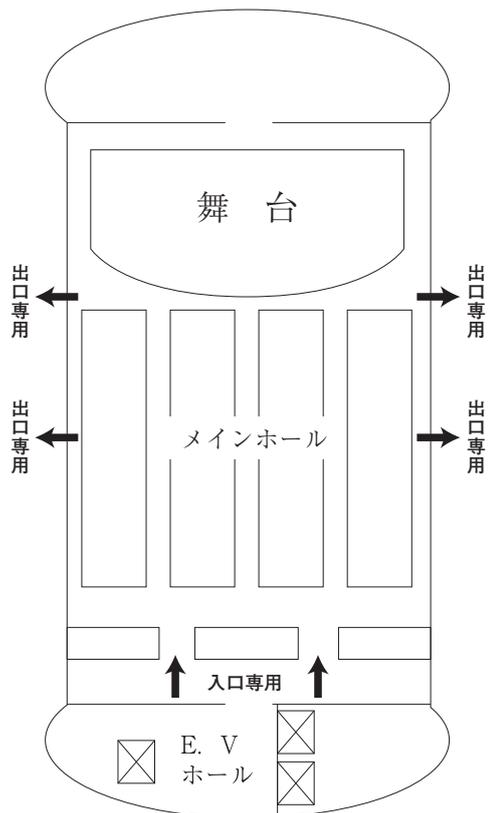
- ① 医歯薬出版(株)
- ② (株)ヒョーロン・パブリッシャーズ
- ③ (株)永末書店
- ④ (株)日本歯科新聞社
- ⑤ (有)医学情報社
- ⑥ わかば出版(株)
- ⑦ (株)デンタルダイヤモンド社
- ⑧ インターアクション(株)
- ⑨ クインテッセンス出版(株)

- ① 東邦歯科産業(株)
- ② リンカイ(株)
- ③ アイワ医科工業(株)
- ④ (株)ユニタック
- ⑤ クリアテック(株)
- ⑥ (株)DentalBank
- ⑦ (株)日本歯科金属
- ⑧ (株)ヨシオカ
- ⑨ (有)ウィルデント
- ⑩ アサヒプリテック(株) 名古屋営業所
- ⑪ 愛知製鋼(株)
- ⑫ (株)必然
- ⑬ デンタルプロ(株)
- ⑭ 佐藤製薬(株)
- ⑮ (株)アトラスジャパン
- ⑯ ダイナースクラブ
- ⑰ (株)コムネット
- ⑱ (株)キクタニ
- ⑲ 芝田薬品(株)
- ⑳ 相田化学工業(株)
- ㉑ OLiNAS(株)イイダオフィス
- ㉒ アメリカン・エクスプレス・
インターナショナル, Inc
- ㉓ ツルヤ(株)
- ㉔ (株)エーアイクリエイト
- ㉕ (株)バイオスジャパン
- ㉖ 三宝製薬(株)
- ㉗ (株)デンテック
- ㉘ 不二光学機械(株)
- ㉙ (株)泰成
- ㉚ (株)MEDIC
- ㉛ 東海事業継承サポートセンター
- ㉜ (有)ティーエイコーポレーション
- ㉝ オプティマルエイド(同)
- ㉞ 東海企画設計 (トモエ建設)
- ㉟ (株)ユーディーエー建築設計
- ㊱ 福翊(株)
- ㊲ 共和医理科(株)
- ㊳ デンタルエイド(株)
- ㊴ (株)東洋化学研究所
- ㊵ (株)モレーンコーポレーション
- ㊶ アドバンスジャパン(株)
- ㊷ 和田精密歯研(株)
- ㊸ (株)NSK
- ㊹ (株)フェニックスデント
- ㊺ (株)デントロニクス
- ㊻ (株)アール・エー・キュー

16日

- 愛知県歯科医学大会講演
- (一社)愛知県歯科医師会講演 1、2
- (一社)愛知県歯科技工士会講演
- (公社)愛知県歯科衛生士会講演

7階 メインホール



[MEMO]

愛知県歯科医学大会

講演抄録



デジタルデンチャーを始める前に、 一般臨床歯科医が知っておきたいこと

東京医科歯科大学(現 東京科学大学)名誉教授

鈴木 哲也

CAD/CAM冠やジルコニアクラウンなど、普及が進んだCAD/CAM技術は、とうとう有床義歯分野にも展開されてきた。特にコンプリートデンチャーについては一貫して製作可能なシステムが、多くのメーカーから発売されている。レジンディスクを切削加工するミリング法が先行していたが、口腔内で使用可能な3Dプリント材料が2020年に国内で薬事認可されたことから、臨床応用が加速されてきた。それらは一般にはデジタルデンチャーと呼ばれている。

このような流れの中で、デジタルデンチャーを導入するか、しばらく様子を見ようか思案している先生も多いかと思う。デジタルデンチャーは何かとても優れたもので、自動的に義歯が作られるようになると過度な期待をされる先生がいる一方で、デジタルデンチャーは新進気鋭の若手がやるもので、従来型の歯科医師ではこれから修得するのは難しいと誤解している先生もいるようだ。

しかし、演者が実際にいくつか症例をこなして気づいたことは、デジタルデンチャーと言っても、歯科技工士には大変革であるものの、歯科医師のやることはアナログで、チェアサイドでの診療は従来法とほとんど変わらないということだった。要するに、従来法での知識、技術がそのままデジタルデンチャーに活きるということである。

そこで、本講演ではデジタルデンチャーの概要と、演者が現在臨床で試用している3Dプリンターを用いた製作システムでの臨床経験を通して気づいた、デジタルデンチャー製作において一般臨床歯科医が知っておきたい点をピックアップしてお話する。

加工方法を比較すると、機械的強度や適合性ではミリング義歯が優れるが、製作効率、コストでは3Dプリント義歯が優る。両者とも、製作した義歯床部に人工歯部を接着させる際の浮き上がりが問題とされている。長期経過をみた報告はあまりみられないが、臨床評価においては3Dプリント義歯と従来法の義歯にはほとんど有意差はないとされている。印象採得と咬合採得については、従来法でも、特殊なトレー(DENTCAなど)を用いる方法でも構わないが、デジタルデンチャーでは試適時の修正に制約があることから、コピーデンチャーを使用する方法を推奨している。特に歯科技工士との連携

に義歯の良否がかかっている。

パーシャルデンチャーについてはクラスプなどの金属部分とレジン部とを同時に加工する機器が現時点では無いことから、パーツごとの製作に留まっている。そのためコンプリートデンチャーでも金属床義歯には使えず、特に3Dプリント義歯は自費による高額な費用をチャージできるような対象とはなり難いように思う。

しかし、低コストで、短時間に、従来法に劣らない十分な機能を有する義歯製作が可能であることから、著しく不足している若手歯科技工士問題にも僅かながらも福音となり得るかと思う。また、一端、義歯データを作製、保存すれば、紛失や破損などのトラブルがあっても、すぐに同じ義歯を製作できる。通院できる元気なうちにデジタルデンチャーを一度作っておけば、在宅医療に移った時などでも安心である。

超高齢社会において、デジタルデンチャーは高齢者への多くのベネフィットを有し、時代が求める製作方法となり得ると考える。

【略 歴】

鈴木 哲也

1980年 東京医科歯科大学歯学部卒業

1985年 同大学大学院修了（歯学博士） 同助手（歯科補綴学第三講座）

1997年 米国オハイオ州立大学 客員助教授

2005年 岩手医科大学歯学部歯科補綴学第一講座 教授

2011年 東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻 教授

2015年 東京医科歯科大学大学院口腔機能再建工学分野 教授

2020年 東京医科歯科大学定年退職 名誉教授の称号授与

現 在 広島大学客員教授、岩手医科大学非常勤講師

その他

日本補綴歯科学会 専門医、指導医

日本老年歯科医学会 専門医、指導医

日本歯科理工学会 Dental Materials Senior Adviser

日本義歯ケア学会 義歯ケアマイスター

主な著書

1) 鈴木哲也. よい義歯 だめな義歯

鈴木哲也のコンプリートデンチャー17のルール. クインテッセンス出版, 2011.

2) 鈴木哲也, 古屋純一. コンプリートデンチャー 鈴木哲也のマスター1

ランクアップのための知恵と技. デンタルダイヤモンド, 2017.

3) 鈴木哲也, 古屋純一. 鈴木哲也のよい義歯 だめな義歯2

咬合採得と咬合調整で失敗しないためのコンプリートデンチャー4ステップ12ルール.

クインテッセンス出版, 2021.



小児の口腔機能の健全な発達と 発達不全への対応

朝日大学 歯学部 口腔構造機能発育学講座 小児歯科学分野 教授

齊 藤 一 誠

小児の成長発育については、近年さまざまな課題が指摘されています。特に、食べる機能や話す機能を含む口腔機能は、全身の成長発育と密接に関連しており、生命活動の源となるだけでなく、人間形成の基盤や社会性を育むという側面からも重要です。しかし、口腔機能の発達の遅れ（口腔機能発達不全症）が近年特に問題となっています。

小児期の口腔機能は、大人の機能をそのまま小さなサイズで理解することはできません。これは、身体の成長発育に合わせて口腔機能も発達するためです。成人期では、すでに獲得した機能の維持が重要であり、「リ・ハビリテーション」により機能を維持することができます。また老齢期には、徐々に機能が低下する中で、「リ・ハビリテーション」によりフレイルを防ぐことを求められますが、どちらも既に機能を獲得しているという共通点があります。

一方、小児期は、まだ獲得していない機能をさまざまな経験を通じて徐々に習得していく時期であるため、「ハビリテーション」（＝機能の獲得）という概念が必要です。口腔機能の発達は全身の発達と関連していますが、その発達様式は異なります。歯の交換や顎顔面の成長に伴って口腔の形態が劇的に変化するため、口腔機能の獲得には「オーラル・ハビリテーション」としての小児への支援が必要です。

小児の口腔内は、無歯期から乳歯列期、混合歯列期を経て最終的に永久歯列へと変化していきますが、この期間は概ね12年間です。人生100年時代と言われる現代において、小児の口腔内の形態は非常に短期間で大きく変化し、その後の人生の重要な礎となります。それに伴い口腔機能も発達しますが、口腔機能の発達不全を管理するには、各ステージにおける口腔機能の正常な発達像を理解しておく必要があります。歯科の視点は、以前は小児のう蝕治療を中心とした形態に関する疾患－修復モデルでしたが、現在では「食べる」や「話す」といった口腔機能の発達における障害－改善モデルへとシフトしてきています。つまり、小児歯科に携わる医療者には、障害－改善モデルに沿った対応が求められています。

2023年に実施された口腔機能の発達に関する全国調査では、コロナ後の口腔機能の

発達への悪影響が問題として浮かび上がってきました。例えば、「口唇閉鎖不全」や「口唇の乾燥」など口腔機能の発達に関連する項目が増加しており、「口を閉じて鼻呼吸ができない（1分以上）」、「口がよく乾く」、「朝の口臭がある」など、咀嚼・嚥下機能や口呼吸に関連する項目も増加傾向が見られました。成長発育期においてさまざまな問題が発生しますが、小児の口腔機能の発達をその場に応じて支援する必要があります。

そこで今回の講演では、小児の口腔機能の正常な発達について概説するとともに、口腔機能発達不全症に関連する臨床研究から得られた最近の知見や症例についてお話しさせていただきます。

【略 歴】

齊藤 一誠

1999年 九州大学 歯学部 歯学科 卒業
2003年 九州大学 大学院歯学研究科 歯学臨床系専攻 博士課程 修了
2005年 鹿児島大学 大学院医歯学総合研究科 口腔小児発達学分野 助手
2007年 鹿児島大学 医学部・歯学部附属病院 発達系歯科センター 小児歯科 講師
2008年 米国 Baylor College of Dentistry. Visiting Researcher
2010年 鹿児島大学 大学院医歯学総合研究科 小児歯科学分野 准教授
2012年 新潟大学 大学院医歯学総合研究科 小児歯科学分野 准教授
2021年 朝日大学 歯学部 口腔構造機能発育学講座 小児歯科学分野 教授
現在に至る

所属学会等

日本小児歯科学会常務理事、日本顎口腔機能学会常務理事、日本咀嚼学会理事
日本臓器保存生物医学会（国際パートナー誌編集副委員長）、日本再生医療学会会員
日本小児歯科学会 専門医・専門指導医、日本障害者歯科学会 認定医

受賞歴

2003年10月 日本顎口腔機能学会 奨励賞 受賞
2008年6月 日本小児歯科学会 奨励賞 受賞
2011年11月 日本小児歯科学会 学術賞“LION Award” 受賞
2015年5月 日本小児歯科学会 町田賞 研究奨励賞 受賞
2018年5月 PEDIATRIC DENTAL JOURNAL 優秀論文賞 受賞
2018年5月 日本小児歯科学会 町田賞 優秀論文賞 受賞
2019年6月 日本小児歯科学会 優秀発表賞 受賞
2024年4月 令和6年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 受賞

歯科技工士にできること ～医科診療科との連携～

発表者：森下裕司[※] 佐伯和紀[※] 古川洋志^{※※}

愛知医科大学病院 形成外科体表面補綴研究室[※]

愛知医科大学 形成外科教授^{※※}



森下裕司



佐伯和紀



古川洋志

【講演抄録】

2021年4月 愛知医科大学病院形成外科はエピテーゼ・プロテーゼの要望に応えるべく体表面補綴外来を開設した。体表面補綴外来診療において必要とされる装具の製作・開発部門として研究室が設置され、製作担当者として歯科技工士が採用となった。

歯科技工士は様々な材料を加工し、患者にぴったりと合った装具を製作することのできる技術者であり、その技術は歯科だけでなく多くの医科診療科から注目されている。今回、形成外科所属の歯科技工士として製作した各種の装具を供覧し、歯科技工士と医科診療科の連携を報告する。

【略歴】

森下 裕司

- 1981年3月 東海歯科技工専門学校 卒業
- 1981年4月 マルミ歯科医院 勤務
- 1984年4月 愛知医科大学付属病院 歯科・口腔外科 勤務
- 1991年8月 イェーテボリ大学 ブローネマルククリニック インプラント研修
- 1998年7月 UCLAメディカルセンター 顎顔面補綴クリニック研修
- 2006年3月 八洲学園大学 卒業
- 2021年4月 愛知医科大学病院 形成外科勤務 現在に至る

歯科技工士免許 愛知県第2145号 昭和56年4月
愛知医科大学歯科口腔外科研究員

日本歯科技工士会 認定講師 第161号
日本歯科技工学会 専門士 第77号
全技協認定顎顔面補綴認定技工士 12-9号
広島大学 歯学部 口腔保健工学科 客員講師
東洋医療専門学校 歯科技工士科 非常勤講師
東海歯科医療専門学校 非常勤講師
京都歯科医療技術専門学校 非常勤講師
大阪大学 歯科技工専門学校 非常勤講師
名古屋歯科医療専門学校 非常勤講師
富山歯科総合学院 歯科技工士科 非常勤講師
広島歯科技術専門学校 歯科技工士科 非常勤講師
全国歯科技工学校教育協議会 顎顔面補綴士認定コース 講師
所属学会
日本歯科技工学会
日本口腔顎顔面技工学会
インプラント上部構造研究会

【略歴】

佐伯 和紀

愛媛県出身

2018年3月 河原医療大学校 歯科技工学科卒業
2019年3月 大阪大学歯学部附属病院 歯科技工研修修了
2019年4月 鳥取大学医学部附属病院 歯科口腔外科入職
2022年3月 同上 退職
2022年4月 北海道大学病院 生体技工部入職
2024年3月 同上 退職
2024年4月 愛知医科大学病院 形成外科入職
2024年4月 八洲学園大学 生涯学習学部編入学
現在に至る

【略歴】

古川 洋志

1991年3月25日 北海道大学医学部医学科卒業
自1991年4月1日 至1997年3月31日 北大形成外科（大浦武彦初代教授）、旭川厚生病院、
函館中央病院、北見赤十字病院、形成外科メモリアル病院
で形成外科研修
1998年4月1日 日本形成外科学会認定医取得
2001年3月23日 北海道大学大学院医学研究科博士課程修了、医学博士学位取得（北海道大学）
自2001年4月1日 至2003年3月31日 市立函館病院形成外科 科長
自2003年5月5日 至2004年10月4日 米国Texas大学 M.D.Anderson 癌センター ポスドク
自2004年11月1日 至2006年3月31日 北海道大学医学部附属病院形成外科 医員
自2006年4月1日 至2007年3月31日 北海道大学大学院医学研究科 助手
自2007年4月1日 至2008年6月30日 北海道大学大学院医学研究科 助教
自2008年7月1日 至2014年9月30日 北海道大学大学院医学研究科 講師
自2014年10月1日 至2018年3月31日 北海道大学大学院医学研究科 准教授
自2018年4月1日 至2019年3月31日 愛知医科大学 特任教授
自2019年4月1日 至現在 愛知医科大学 教授

1991年 北海道大学医学部医学科卒業、北大形成外科と関連施設で形成外科と麻酔科を研修
2001年 医学博士学位取得、市立函館病院形成外科 科長
2003年 米国 Texas大学 M.D.Anderson 癌センター ポスドク
2004年 北海道大学医学部附属病院形成外科 医員
2006年 北海道大学大学院医学研究科 助手
2007年 北海道大学大学院医学研究科 助教
2008年 北海道大学大学院医学研究科 講師
2014年 北海道大学大学院医学研究科 准教授
2018年 愛知医科大学 特任教授
2019年 愛知医科大学 教授



これからの摂食嚥下リハビリテーション ～診療所勤務の歯科衛生士に期待すること～

東京医科歯科大学(現 東京科学大学)大学院医歯学総合研究科
摂食嚥下リハビリテーション学分野 教授

戸 原 玄

“老人の友”と呼ばれる肺炎を直接引き起こす摂食嚥下障害は外部からの観察が難しい。超高齢社会である日本では、肺炎による死亡数は多い。その原因は人口の高齢化により誤嚥性肺炎が増加したためではないかと考えられている。誤嚥は摂食嚥下障害により起こるが、その状態を正確に把握するためには精査が必要になる。しかし、全ての患者に対して検査環境が整っているとは言いがたいのが現状であり、特に通院できない患者への対応を困難としている。

摂食嚥下障害への対応の第1歩は職種間で共有すべき知識をもつことにある。そのような知識を一通り得た上で医療連携チームの編成を考えてゆくことが大切であるが、何をおいても患者の発掘が重要な視点となる。現在の日本では摂食・嚥下の評価に長けた人材が不足していることに加えて、DPCおよび療養病床の削減などの影響により、何らかの原因により摂食嚥下機能が低下した患者に対して、入院中にリハビリテーションを十分に行うことができないまま退院もしくは転院するケースが多い。嚥下障害が残存している状態で在宅へ移行する患者が多いが、その先で何も行われなくなる、もしくは退院時の状態が永続的なものとされて対応が続けられるのが問題なのである。極端な表現をすると、食べる機能についてのリハビリテーションが中途なまま退院を余儀なくされているのに対し、退院後、“ただそのまま”になっている患者が多いのである。

特に今後の日本においては訪問診療が必要とされる場面、地域が増加することは想像にたやすいが、そういった場面で食べることを真剣に評価してリハビリの場面に乗せることが重要である。また摂食嚥下というと内視鏡検査を行って訓練をするんだろうというイメージを持つ方がおそらく大半だと思う。研究内容もオーラルフレイルとかそういう評価をするんじゃないかという印象があると思われる。しかし、近年摂食嚥下関連の研究は発展している。介入の必要性や臨床の基本的な部分も紹介するが、QOLを向上するために必要な行動、声が出せない人向けの口腔内装置、嚥下の介入が腸内細菌に及ぼす影響などなるべく新しいものもできるだけ紹介する。

そして、そのような視点を持つために意識すべきことなどについても考えられればと思う。

【略 歴】

戸 原 玄 1972年1月19日生 歯科医師
1997年 : 東京医科歯科大学歯学部歯学科卒業
1998-2002年 : 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科老化制御学系専攻高齢者歯科学分野大学院
1999-2000年 : 藤田保健衛生大学医学部リハビリテーション医学講座研究生
2001-2002年 : ジョンズホプキンス大学医学部リハビリテーション科研究生
2003-2004年 : 東京医科歯科大学歯学部附属病院高齢者歯科 医員
2005-2007年 : 東京医科歯科大学歯学部附属病院高齢者歯科 助手
東京医科歯科大学歯学部附属病院摂食リハビリテーション外来 外来医長
2008-2013年 : 日本大学歯学部摂食機能療法学講座 准教授
2013-2019年 : 東京医科歯科大学 (現 東京科学大学) 大学院医歯学総合研究科老化制御学系口腔老化制御学講座高齢者歯科学分野 准教授
2020年 - : 東京医科歯科大学 (現 東京科学大学) 大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野 教授

業 績

【原 著】

1. Yamaguchi K, Tohara H, et al: Effect of oral intake initiation-establishment interval on hospital stay after oral cancer surgery., Oral Dis. 2024
2. Yamada T, Tohara H, et al: Development and evaluation of a new intraoral voice assist device called the voice retriever. Laryngoscope Investig Otolaryngol. 2024
3. Tamura A, Tohara H, et al: Physical, oral, and swallowing functions of three patients with type a xeroderma pigmentosum: a report of three cases. BMC Oral Health. 2024
4. Yamaguchi K, Tohara H, et al.: Effect of poor oral health status at hospital admission on in-hospital outcomes of older patients with aspiration pneumonia. Eur Geriatr Med. 2024
5. Moritoyo R, Tohara H, et al.: Relationship between the jaw-closing force and dietary form in older adults without occlusal support requiring nursing care. Sci Rep. 2023

【受 賞】

1. 日本顎口腔機能学会学術大会優秀賞, 2023年
2. 訪問診療での歯科臨床 在宅歯科医療をさらに高めるClinical Questions, 戸原玄, 中川量晴編集 2021年老年歯科医学会賞
3. 歯学研究奨励賞, 東京医科歯科大学, 2018年度
4. 東京医科歯科大学医療チーム功労賞, 東京医科歯科大学, 2015, 2017年
5. 日本摂食嚥下リハビリテーション学会論文賞2009年度, 2023年度
6. 老年歯科医学会雑誌2008,2009,2014年度優秀論文賞

【理 事】

日本老年歯科医学会 (常任理事・高齢者歯科医療委員会委員長・摂食嚥下リハビリテーション委員会委員長)
日本摂食嚥下リハビリテーション学会 (表彰委員会委員長・教育委員・ホームページ担当委員会委員長)
Patient Doctor Network
在宅支援歯科診療連絡会
日本補綴学会東京支部
日本神経摂食嚥下・栄養学会 (編集委員・2025年学術大会大会長)
日本口腔リハビリテーション学会
口腔病学会
日本咀嚼学会
日本顎口腔機能学会 (2024年学術大会大会長)
日本咀嚼学会 (利益相反委員会副委員長)

【認定医・専門医】

日本摂食嚥下リハ学会認定士
日本老年歯科医学会認定医および認定医指導医
日本老年歯科医学会専門医および専門医指導医

[MEMO]

東海齒科用品商協同組合

企 画 講 演

①15:00~15:45 サンシステム株式会社

ゼロからわかる！医療DXの現状と展望

サンシステム株式会社 DX推進本部 執行役員 三浦 淑郎

医療DXについてご存じでしょうか？

「全国医療情報プラットフォームの創設」、「電子カルテ情報の標準化」、「診療報酬改定DX」を3本の柱とし、すでに多くの歯科医院様が導入されている「オンライン資格確認システム」や、「電子処方箋管理サービス」が始まっています。

また、今後も「電子カルテ情報共有サービス」のスタートなどが医院運営に大きな影響をもたらすと予想されています。

今回の講演では、医科・歯科双方をサポートしている弊社ならではの視点から、医療DXの現状と展望はもちろん、歯科医院様がどのような検討や準備をしていくことになるか具体例を交えて、できるだけわかり易く説明いたします。

②15:45~16:30 株式会社プリファードロボティクス（内外歯材株式会社）

ロボット協働の新たな可能性： スタッフの負担軽減と患者サービス向上

柴 昂祐

「カチャカデンタルプラン」は、2024年ロボット大賞「総務大臣賞」を受賞した自律搬送ロボット「カチャカ」を歯科クリニックの利用に最適化したモデルです。自律搬送ロボットといえば、一般的に飲食業界の配膳ロボットがイメージされますが、カチャカはそれらとは一線を画し、「安価・簡単・小型」というコンセプトで設計しました。

多くの配膳ロボットは乗用車並みの価格がかかる一方、カチャカは遥かに小さい費用で導入が可能で、工事やレイアウト変更も必要ありません。スマートフォン1台で簡単に設定でき、ボタンひとつで指定の場所へ自律的に移動します。

歯科クリニックにおけるカチャカの主な利用シーン

1. 治療器具のユニットへの運搬
2. 不潔器具の片付けおよび清潔器具の搬送
3. カルテやドキュメントの運搬

歯科業界は慢性的な人手不足に直面しており、スタッフの業務負担を軽減し、生産性を向上させることがクリニック経営において極めて重要な課題となっています。カチャカは、スタッフの移動時間を減らすことで、彼らがより重要な業務に集中できる時間を創出します。このことは、限られたリソースで質の高い医療サービスを提供するために大きな助けとなります。

①10:00～10:45 ライオン歯科材株式会社

歯周治療とプラークコントロール ～患者さんを行動変容に促すヒント!～

日本歯周病学会認定歯科衛生士、日本臨床歯周病学会認定歯科衛生士 鈴木 亜紀

歯周病の原因はバイオフィルムの常在菌です。その原因となる細菌の数を可能なかぎり減らすプラークコントロールこそが、歯周治療の成功の鍵となります。

しかし「なかなかブラッシングが定着しない…」「毎回同じブラッシング指導になってしまう…」「セルフケア用品って何を使ったらいいの?」と悩んでいる歯科衛生士さんも多いかと思います。

正しい知識を伝えるだけでなく、「なぜ磨けないのか?」を考え、患者さんの状態に合わせたアプローチが必要です。歯周治療におけるブラッシングの効果、患者さんを行動変容に促すヒント!を症例をとおしてご紹介したいと思います。

②10:45~11:30 株式会社ジーシー

スピードホワイトニング? それとも マイルドホワイトニング? —患者のニーズに応える医療ホワイトニングの新提案—

医療法人ジニア ぱんだ歯科 理事長 須崎 明

現在、歯科医院で行うホワイトニングすなわち「医療ホワイトニング」が注目されています。

歯科医師による一口腔内単位での診査・診断に基づくホワイトニングは良好な漂白効果が得られやすく患者の満足度も高いといえます。さらに医療ホワイトニングを支えるホワイトニング製品も多様化しています。これらは患者のニーズに合わせた個別対応を可能にさせ「ホワイトニング臨床の成功のカギ」に繋がります。

また、医療ホワイトニングティオン[®]シリーズにも新たにティオンライトやティオンホーム ウィズが加わり、さらに患者個別対応が可能となりスピードホワイトニングや難症例への対応が容易となりました。そこで今回はこれらの製品の特長と実際のホワイトニング症例についてお話させていただきます。

③11:30~12:15 クルツァージャパン株式会社

“簡単で高接着” — ZENユニバーサルシステムの概要について

クルツァー ジャパン株式会社 学術情報/ナレッジマネジメント部 阿部 孝洋

三井化学とサンメディカル、クルツァーの3社のコラボレーションで“システム構成もシンプル、操作フローも簡単で高い接着力”を実現したユニバーサルシステムを開発致しました。

新技術を多く搭載しており、発売後の高評価の理由についてご案内いたします。

④12:15~13:00 株式会社コムネット

診療報酬改定を活かし切る歯科医院経営のこれから

かすみおしむら歯科・矯正歯科・口腔機能クリニック 押村 憲昭

診療報酬改定は歯科医療においても重要なテーマであり、その影響は医院経営に直結します。本講演では、最新の診療報酬改定を最大限に活用するための具体的な戦略を提示させていただきます。

診療報酬改定の背景には、国の医療政策や地域のニーズの変化があり、特に高齢化社会が進む中で、歯科医療の役割がますます重要視されています。これに伴い、改定された報酬体系を理解し、適切に対応することが必要で、新たに導入された診療項目や報酬の変化に着目し、医院の診療体制を見直すことが求められます。

地域の特性を掴み、瞬時に歯科医院の色を変化させることで、患者と地域の信頼を得る事が重要です。

効率的な経営を実現するには、業務のIT化やスタッフ教育も不可欠で、予約システムの整備によって業務の効率化を図れます。

診療報酬改定を活かすためには、院長自身が経営者視点を持ち、戦略的に医院運営を行うことが重要です。

今後の歯科医院経営は、単に治療を行うのではなく、患者との信頼関係を築き、地域に根ざした活動を展開することが求められます。当院が開業4年で16台まで成長できた理由を、歯科衛生士の採用と定着の取り組みも交えてお話しさせていただきます！

⑤13:00~13:45 ソルベタム合同会社

保険診療でも妥協しないコンポジットレジンの 解剖学的回復と色調適合性

医療法人慈愛恵真会 あらかい歯科 勤務 GLOBAL DENTAL SYSTEM 松本 拓也

わが国でのコンポジットレジン充填は保険診療で行われる先生が圧倒的に多いであろう。そして、保険診療の制約の中でも可能な限り、精密な充填と解剖学的で機能的な形態付与や審美的な回復が行われていると思う。

今回、2025年3月に発売となるフィルテック™ イージーマッチ ユニバーサル コンポジットレジンについて先んじて臨床使用の機会を得たので、その使い方についていくつかのポイントを紹介したいと考えている。

本製品はペーストタイプのコンポジットであり、シェードは3色のみで ビタ™ クラシカルシェードに適合するユニバーサルシェードコンセプトになっている。ペーストは器具離れが良く、形態を付与したいところだけ形を変えられる特徴と、付与した形態が変形しにくいソルベタム独自のレジンマトリックス配合がなされている。シェードは明るい歯にはブライト色、標準的なA2, A3相当の歯にはナチュラル色、A3.5やA4相当にはウォーム色が準備されて、簡単にシェード選択ができる構成となっている。

今回は保険診療の枠組みの中で本製品を使用した形態付与や色調適合など明日からの臨床にお役立てできる臨床所感やテクニックをお伝えしたい。

[MEMO]

愛知県歯科医学大会 ワークショップ

(一社) 愛知県歯科医師会

- 「愛知県歯科医師会による肝疾患啓発」コーナー
- 「閉塞性睡眠時無呼吸」コーナー
- 「りっぷるくん、りっぷるとれーなー」コーナー 「イルミスキャンII」コーナー
- 歯科医院専売洗口液【モンダミンハビットプロ】コーナー
- 口腔機能低下症検査機器体験コーナー

(一社) 愛知県歯科技工士会

- ADTAトレーニングセンター第10期技工作品展示
- 技工製作物展示

(公社) 愛知県歯科衛生士会

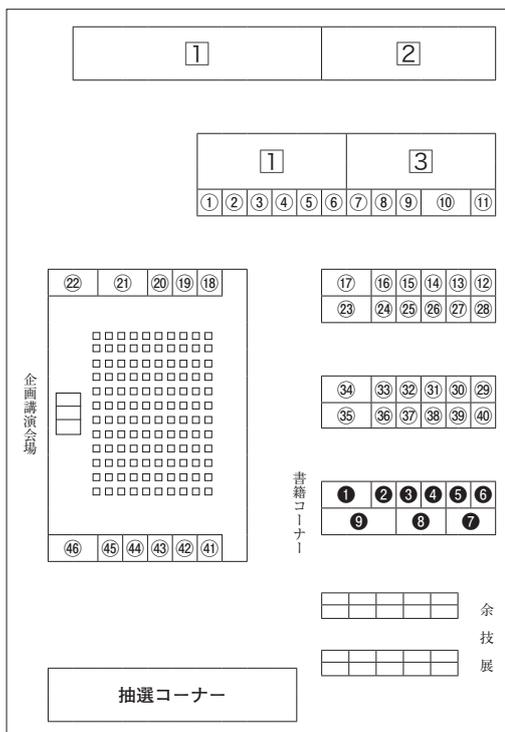
- 学術大会「第19回 会員ポスター展示」

東海歯科用品商協同組合企画講演

- 15:00~15:45 ① サンシステム株式会社 ゼロからわかる！医療DXの現状と展望
- 15:45~16:30 ② 株式会社プリファードロボティクス (内外歯材株式会社)
ロボット協働の新たな可能性：スタッフの負担軽減と患者サービス向上

中部日本デンタルショー

- 「歯科に関する本なんでもコーナー」



配置図

2階 第1ファッション展示場

- ① 愛知県歯科医師会コーナー
- ② 愛知県歯科衛生士会コーナー
- ③ 愛知県歯科技工士会コーナー
- ① 医歯薬出版(株)
- ② (株)ヒョーロン・パブリッシャーズ
- ③ (株)永末書店
- ④ (株)日本歯科新聞社
- ⑤ (有)医学情報社
- ⑥ わかば出版(株)
- ⑦ (株)デンタルダイヤモンド社
- ⑧ インターアクション(株)
- ⑨ クインテッセンス出版(株)

愛知県歯科医学大会 ワークショップ

(一社) 愛知県歯科医師会

- 「愛知県歯科医師会による肝疾患啓発」コーナー
- 「閉塞性睡眠時無呼吸」コーナー
- 「りっぷるくん、りっぷるとれーなー」コーナー 「イルミスキャンII」コーナー
- 歯科医院専売洗口液【モンダミンハビットプロ】コーナー
- 口腔機能低下症検査機器体験コーナー

(一社) 愛知県歯科技工士会

- ADTAトレーニングセンター第10期技工作品展示
- 技工製作物展示
- カービングコンテスト&デジタルカービングコンテスト

(公社) 愛知県歯科衛生士会

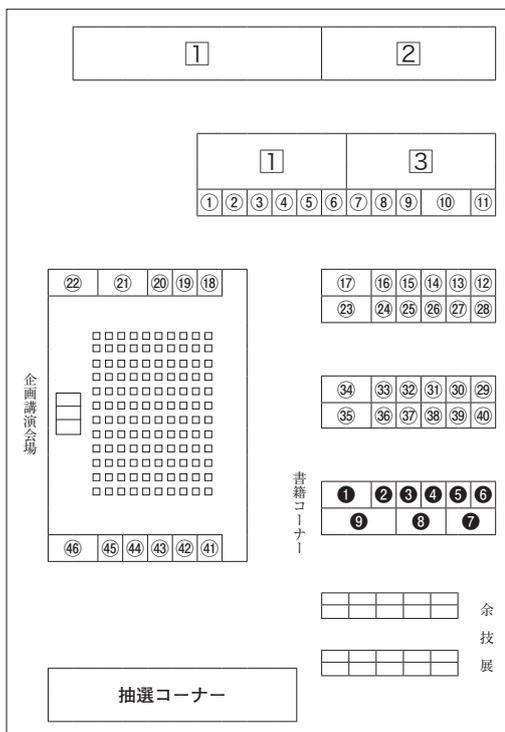
- 13:00~13:20 学術大会「第19回 会員ポスター発表」
- 10:00~15:30 「出張 なんでも相談」

東海歯科用品商協同組合企画講演

- 10:00~10:45 ① ライオン歯科材株式会社 歯周治療とプラークコントロール
～患者さんを行動変容に促すコツ!～
- 10:45~11:30 ② 株式会社ジーシー スピードホワイトニング? それとも マイルドホワイトニング?
-患者のニーズに応える医療ホワイトニングの新提案-
- 11:30~12:15 ③ クルツァージャパン株式会社 "簡単で高接着"-ZENユニバーサルシステムの概要について
- 12:15~13:00 ④ 株式会社コムネット 診療報酬改定を活かし切る歯科医院経営のこれから
- 13:00~13:45 ⑤ ソルベタム合同会社 保険診療でも妥協しないコンジットレジンの解剖学的回復と色調適合性

中部日本デンタルショー

- 「歯科に関する本なんでもコーナー」



配置図

2階 第1ファッション展示場

- ① 愛知県歯科医師会コーナー
- ② 愛知県歯科衛生士会コーナー
- ③ 愛知県歯科技工士会コーナー
- ① 医歯薬出版(株)
- ② (株)ヒョーロン・パブリッシャーズ
- ③ (株)永末書店
- ④ (株)日本歯科新聞社
- ⑤ (有)医学情報社
- ⑥ わかば出版(株)
- ⑦ (株)デンタルダイヤモンド社
- ⑧ インターアクション(株)
- ⑨ クインテッセンス出版(株)

「愛知県歯科医師会による肝疾患啓発」コーナー

(共催：厚生労働科学研究費 肝炎等克服政策研究事業
「肝炎ウイルス検査受検率の向上及び受診へ円滑につなげる方策の確立に資する研究」)

B型・C型肝炎ウイルスは血液などの体液を介して感染しますが、一般的な日常生活で感染することはまずありません。しかしこれらの正しい情報は、歯科領域でまだあまり知られていません。B型・C型肝炎ウイルスに感染していると、肝硬変・肝癌になる可能性があります。近年ウイルス性肝炎の治療が進歩し、予後を改善できるようになりました。

皆様は肝炎医療コーディネーターをご存じですか。肝疾患の正しい知識を身につけた専門家で、愛知県では県知事が認定しています。愛知県歯科医師会は全国にさきがけて、歯科領域にまだ少ない肝炎医療コーディネーター（歯科医師・歯科衛生士・歯科助手）の養成を推進しています。

当日は愛知県歯科医師会による肝疾患啓発活動・歯科領域での肝炎医療コーディネーターの活動・肝炎の最新治療・正しいB型肝炎ワクチン接種スケジュールなどをご紹介します。クイズに参加された皆様には、実用的なオリジナルグッズをプレゼントします。肝臓専門医・糖尿病専門医も会場の皆様のご質問にお答えします。是非お立ち寄りください。

「閉塞性睡眠時無呼吸」コーナー

共催：ソムノメッド

閉塞性睡眠時無呼吸（OSA）は、睡眠中に無呼吸・低呼吸を生じる疾患で、生活習慣病、心疾患、脳卒中などを合併することが知られています。また、日中の眠気に伴う居眠り運転や労働災害の原因と警鐘され早期発見、治療が重要な疾患です。

OSAは医科における睡眠検査で診断され、本邦では、無呼吸低呼吸指数（AHI）：20/h以上に持続陽圧呼吸療法（CPAP）が導入され、AHI：20/h未満またはCPAP使用困難な患者に口腔内装置（OA）治療が選択されます。OA治療は医科から歯科への診療情報提供により歯科医師が行う治療であり、下顎前方位を保持する口腔内装置を就寝時に装着することで、肥満や小顎などに起因した上気道狭窄を緩和し、OSAの改善を図ることが可能です。愛知県歯科医師会では専門医療機関との連携のできる歯科医師の育成のために臨床睡眠歯科養成研修会を行っております。その紹介とOA実物の展示を行います。ご気軽にお立ちよりください。

「りっぷるくん、りっぷるとれーなー」コーナー

共催：(株)松風

近年口唇閉鎖習慣を持たない小児が増加傾向にあり、口唇閉鎖力の弱い小児は鼻呼吸できずに口呼吸することが知られています。日常的な口呼吸は、口腔領域に悪影響を及ぼすとされています。口唇閉鎖力が弱い小児の機能回復を図るには、まず患者の口唇閉鎖力を把握することから始まります。そこで、使いやすく正確な診断情報が得られる測定器を目指し、日本小児歯科学会と共同で口唇閉鎖力測定器「りっぷるくん」開発をし、2015年9月に発売いたしました。また、口唇閉鎖力の弱い小児が自宅で安全に口輪筋トレーニングを行えるように「りっぷるとれーなー」を2016年7月に発売いたしました。

日本歯科医学会発行の「口腔機能発達不全症に関する基本的な考え方」に掲載されている口唇閉鎖力のデータは「りっぷるくん」で測定されており、「りっぷるくん」での口唇閉鎖力測定が一般的になりつつあります。「りっぷるくん」と「りっぷるとれーなー」を展示しておりますので、是非この機会にお立ち寄りください。

「イルミスキャンⅡ」コーナー

近年、先進国では口腔癌の早期発見、早期治療の徹底により死亡者は年々減少傾向にあります。ところが日本では口腔癌による死亡者が年々増加傾向にあります。これは口腔癌と診断された時には既に重症化していることが比較的多いことが要因であると考えられています。口腔癌を始めとする口腔粘膜疾患を初期に簡単な操作で発見できる検査機器は残念ながら市場でも認知度は低く、習熟が必要とされる従来の視診（白色光下）や触診という検査自体も一般的に普及しているとは言えません。こういった現状を踏まえ、口腔癌の早期発見を目指し、簡単に非侵襲で口腔粘膜検査が行える口腔粘膜観察装置を開発し発売してまいりました。口腔粘膜観察装置は当初はクラスⅠの歯科用口腔内カメラ「イルミスキャン」として、現在はクラスⅡの歯科診断用口腔内カメラ「イルミスキャンⅡ」として販売しております。

「イルミスキャンⅡ」を展示しておりますので、是非この機会にお立ち寄りください。

歯科医院専売洗口液【モンダミンハビットプロ】コーナー

共催：アース製薬

アース製薬は、毎日を明るく健康に過ごしていただけるように、むし菌や歯周病だけでなく、さまざまな疾患を防ぐうえでも大切といわれるお口の健康を守るため、口腔内のケアにお役立て頂けるように、医療の現場の声から生まれたプロユース向けの歯科医院専売品の洗口液を取り扱っております。

災害時のオーラルケア不足で起こる健康リスク

災害時は水不足で口腔内を清潔に保つことができないことやストレスによる免疫力の低下により、誤嚥性肺炎にかかりやすいため、高齢者やお子様は特に注意が必要です。阪神・淡路大震災では震災に関連した肺炎で200人以上の方が亡くなられています。水が使用出来ない中での口腔ケアは重要です。口の中を清潔に保つことができないと、口の中の菌が体に悪影響を及ぼすことがあります。災害時は水が不足するので、なるべく水を使わない方法で口腔ケアを行います。洗口液は水だけのうがいよりも効果的です。災害時にもおすすめです。

なかでも「歯科医院専売モンダミンハビットプロ」は殺菌成分CPC、抗炎症成分GK2、出血予防成分TXAの3つの薬用成分をバランスよく配合したプロ仕様の洗口液となっており、日々の診療にもお役立て頂ける製品となっております。弊社展示ブースでは、洗口液をはじめ様々な歯科医院専売品をご紹介しますので、ぜひお立ち寄りください。

口腔機能低下症検査機器体験コーナー

平成30年に保険収載された「口腔機能低下症」は、適用年齢範囲が65歳以上とされていましたが、令和4年改定で、50歳以上へと適用範囲が拡大されました。

愛知県歯科医師会では平成30年度から老健局事業として東浦町での「オーラルフレイル調査研究事業」を行い4年間に渡り調査研究を実施しました。その結果、口腔機能の低下が始まっているにも関わらず、気づきが遅れているという現状があり、より多くの人に検査が必要であるということが判明しました。

また現在、愛知歯科医療センターにて口腔機能検査事業としても活動しております。

口腔機能低下症の診断には、機器を用いた検査項目がいくつかありますが、機器の使用は普及していません。今回、口腔衛生状態、口腔乾燥、咬合力低下、舌口唇運動機能低下、低舌圧、咀嚼機能低下に関する検査機器を実際に体験していただく機会を設けましたので、歯科医療従事者の皆様に体験していただきたいと思っております。

【対象】

歯科医師、歯科衛生士

【体験機器】

ヨシダ：細菌カウンター、ムーカス、オラモ

GC：デンタルプレスケールⅡ、舌圧測定器、グルコセンサー

県歯部員：健口くんハンディ

【方法】

- ・地域保健部（高齢者・障がい者）部員1名にて各検査のレクチャー、体験
- ・業者（GC、ヨシダ）各2名程度にて各製品のレクチャー、体験

2月15日 (土)

- ADTAトレーニングセンター第10期技工作品展示
 - 技工製作物展示
-

2月16日 (日)

- ADTAトレーニングセンター第10期技工作品展示
- 技工製作物展示
- カービングコンテスト &
デジタルカービングコンテスト

(公社)愛知県歯科衛生士会 学術大会「第19回 会員ポスター発表」

会員の自己研鑽の場として、また歯科衛生士業務の多様化に伴い社会の要望に対応できる歯科衛生士を目指すべく、各々が取り組みをポスターにして掲示します。今回は、感染対策に配慮して以下の時間に発表者がポスターの前に立ち、ご意見・ご質問に対応いたします。

個々が目標を立て未来を見つめる有意義な場となるよう、多くの歯科衛生士にご覧いただければ幸いです。

- 発表 令和7年2月16日(日) 13:00~13:20
*ポスター展示は歯科医学大会期間中となります。
- 会場 第1ファッション展示場 歯科衛生士会ブース

「出張 なんでも相談」

当会ではホームページ上に「歯科衛生士のためのなんでも相談窓口」を設け、主にメールで多様な相談に対応しています。

今回は、会場の一角に相談場所を設け業務上の悩みなど質問や相談に応じます。お話を伺いながら同じ歯科衛生士目線でご一緒に考えます。

- 受付 令和7年2月16日(日) 10:00~15:30
- 会場 第1ファッション展示場 歯科衛生士会ブース



第37回デンタルファミリー余技総合展によせて



愛歯余技クラブ

会長 杉山 乗也

愛知県歯科医学大会・併設中部日本デンタルショーと同時に、第37回デンタルファミリー余技総合展を2025（R7）年2月15日（土）16日（日）開催いたします。この展覧会はその名の通り、歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士、歯科助手、歯科材料商、教育機関、その他歯科関係の皆様とその家族の余暇の作品を展覧いたします。これらの作品が愛知県歯科医学大会、並びに中部日本デンタルショーに華を添えることができましたら幸甚です。

余技は極めて幅広いもので、過去36回にわたり日本画、油彩画、水彩画、水墨画、俳画、書道、彫刻、写真、陶芸、工芸、手芸、生花、魚拓、盆石、盆栽、ドライフラワー、アートフラワー、絵手紙等を展覧してまいりました。今回も小品から時間をかけた大作まで、忙しい合間に少しずつ製作に取り組んだ多数の作品を展覧いたします。

ご参加の皆様には、是非とも余技総合展コーナーにお立ち寄りご観覧下さい。

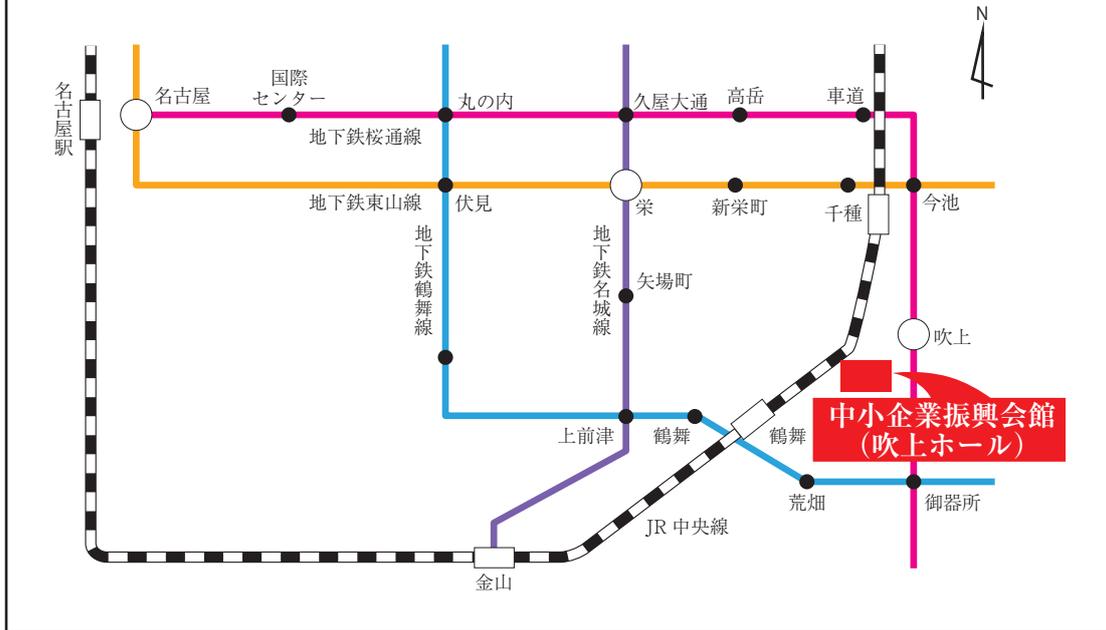
また、2月16日（日曜日11：00－15：00）には茶席（無料）を設けます。ご観覧と共に「憩いの場」「交流の場」としてご利用下さい。

第37回デンタルファミリー余技総合展を催すにあたりまして、今年度も多くの方々のご協力をいただきました。会場の設営をして頂きました東海歯科用品商協同組合をはじめ、愛知県歯科医師会、愛知県歯科技工士会、愛知県歯科衛生士会、学校関係者、愛歯余技クラブ役員の皆様、そしてとりわけ出展者の皆様はこの場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。



[MEMO]

■公共交通機関案内図



■会場 名古屋市中心企業振興会館（吹上ホール）

名古屋市中種区吹上二丁目6番3号 電話 (052) 735-2111

※駐車場(有料)はありますが、台数に限りがございますので、公共交通機関のご利用をお願いします。

■公共交通機関のご案内

■地下鉄 桜通線

「吹上」下車 (5番出口) 徒歩5分

■JR 中央線

「鶴舞」下車 タクシー 5分

徒歩 15分

「千種」下車 タクシー 10分

■市バス

(名古屋駅発) ⑰田代本町ゆき 「吹上」下車

(栄発) ⑰名古屋大学前ゆき 「吹上」下車

(栄発) ⑩田代本町ゆき 「古井ノ坂」又は

「地下鉄吹上」下車

(栄発) ⑱妙見町ゆき 「曙二丁目」下車

■主催 / (-社) 愛知県歯科医師会

■共催 / (-社) 愛知県歯科技工士会

(公社) 愛知県歯科衛生士会

東海歯科用品商協同組合

新型コロナウイルス
感染防止対策 実施中！

感染防止対策を実施しています。
ご不便をおかけしますが、ご協力をお願いします。